

令和4年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「マルラマンティ・コミュニティ中学校特別支援学級棟建設計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館

令和6年4月18日

令和6年4月18日、令和4年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力「マルラマンティ・コミュニティ中学校特別支援学級棟建設計画」の引渡式が、大森摂生駐ボツワナ日本国大使、ムジラ学校長及び来賓その他関係者の出席の下、マルラマンティ・コミュニティ中学校敷地内にて行われました。

本計画は、首都ハポローネ市の中心街から北東の郊外に位置するサウスイースト地区マルラマンティ・コミュニティ中学校において、特別支援教室（約170平米、教室（1室：最大15人収容可能）、障害者用トイレ（男子1基、女子1基）、職員室（2室）、保健室（1室、シャワールーム併設））の建設を支援するもので、特別な支援を必要とする生徒に対して補習授業等を行う場を提供し、インクルーシブ教育の質の向上に寄与することを目的としています。

引渡式において、大森大使は、同施設は希望と機会、そして学習への障壁を取り除く決意を表していると強調し、熱意や好奇心を持って勉学に取り組むよう生徒たちを激励しました。また、本案件は、世界中のインクルーシブ教育の取組を支援するという日本の決意を再確認するものと述べました。



（写真）テープカットを行う大森大使



（写真）生徒代表と同施設の前で